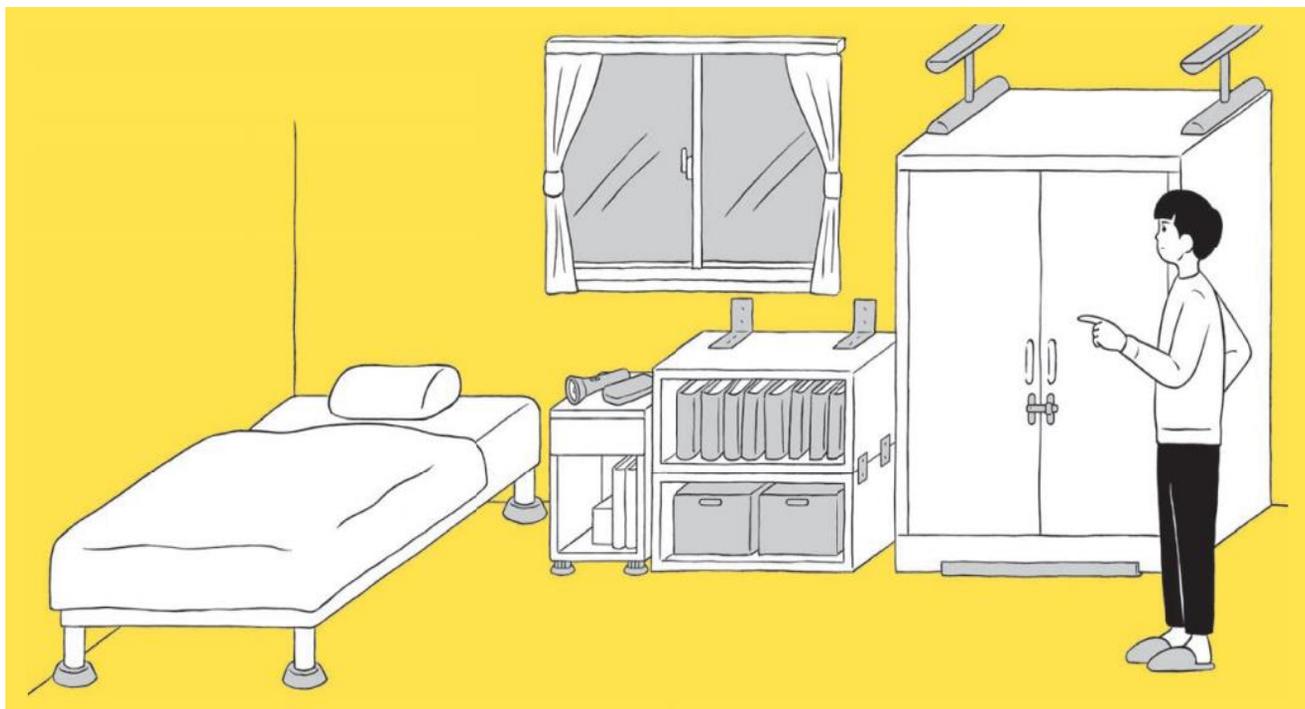


転倒等防止対策 チェック キッチン・リビング



- つり下げ式照明器具：チェーンで揺れ防止対策を行う。
- テレビ：テレビ台に着脱式移動防止ベルトなどで固定。台は金具で壁に固定し、脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。
- 電子レンジ：粘着マットやストラップ式の器具で台に固定し、台もL型金具で壁に固定する。
- テーブル・イス：脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。
- 食器類：転倒しても避難経路をふさがない置き方をし、壁に固定する。ガラスには飛散防止フィルムを貼る。
- 引き出し：飛び出し防止のためにラッチ錠付きを使う。
- つり戸棚：収納物飛び出し防止で扉に開放防止器具を付ける。
- 冷蔵庫：避難の障害にならない場所に設置し、ベルト式器具などで壁と結ぶ。上に落下しやすいものをのせない。

寝室



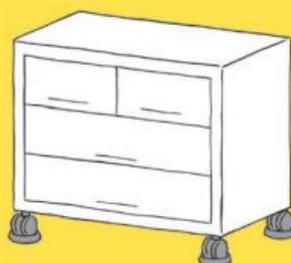
- ベッド : 脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。
額縁や壁掛け時計などはベッドの近くの壁や天井に取り付けない。
- 窓ガラス : 飛散防止フィルムを貼る。
- キャスター付き家具 : 動かさないときはキャスターをロックしキャスター下皿をかませ、着脱式ベルトで壁につなげる。
- 積み重ね式収納ボックス類 : 上下を連結金具でつなぎ、L型金具で壁に固定する。上に落下しやすいものをのせない。
- タンス・クローゼット : 転倒しても避難経路（ドア）をふさがない置き方をする。L型金具や突っ張り棒で壁や天井に固定し、ストッパー敷を敷く。

転倒・落下・移動防止器具



転倒・落下・移動防止対策はネジ止めが基本

家具類のレイアウトを工夫したら、器具による家具類の転倒・落下・移動防止対策を行います。最も確実な方法は、壁にL型金具でネジ止めすることです。ネジ止めが難しい場合は、突っ張り棒とストッパー式、突っ張り棒と粘着マットを組み合わせると効果が高くなります。



キャスター付き家具はロック

日常的に動かして使う場合、移動時以外はキャスターをロックし、定位置がある場合は壁や床に着脱式ベルトなどでつなげます。普段動かさない物は下皿や、ボール式器具などを設置し、固定します。



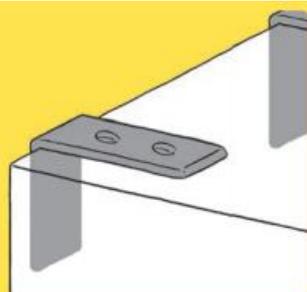
テーブル・イスの滑り止め

壁面に接して置いていない背の低い家具類の中でも、特にテーブルやイスは移動防止対策が必須。粘着マット、カーペットの場合は滑り防止マットを設置します。



長周期地震動への対策

長周期地震動(P240)は、大きくゆっくりとした揺れが続くのが特徴です。そこで注意が必要なのが、つり下げ式照明、観賞用水槽やウォーターサーバーなど水をためる物。適切な器具で対策をしましょう。



□ L型金具(下向き取り付け)

家具と壁を木ネジ、ボルトで固定。家具と壁を木ネジ、ボルトで固定。家具と天井スライド式、上向き、下向き取り付け式があり、下向き取り付けが最も強度が高い。



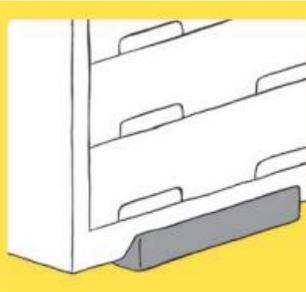
□ ボール式器具(突っ張り棒)

ネジ止めすることなく、家具と天井の隙間に設置する。粘着マットやストッパーとの組み合わせで強度が高くなる。



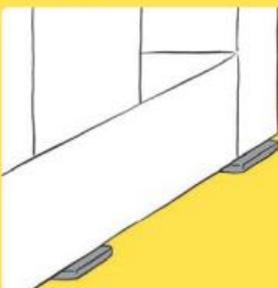
□ チェーン

つり下げ式照明器具などをチェーンやワイヤーなどで結ぶ。



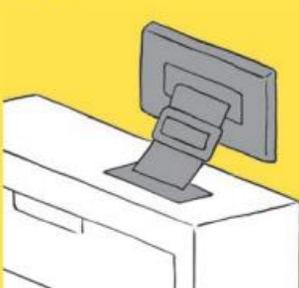
□ ストッパー式

家具の前下部にくさびを挟み込み、家具を壁際に傾斜させる。



□ 粘着シート(マット式)

粘着性のゲル状で、家具の底面と床面を接着させる。



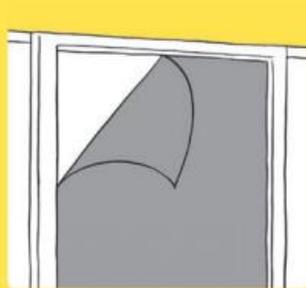
□ 着脱式移動防止ベルト

壁とキャスター付き家具をつなげ、移動を防止する。



□ キャスター下皿

キャスターの下に置き、家具の移動を防止する。



□ ガラス飛散防止フィルム

ガラス製の扉、窓などに貼るフィルム。割れた際の破片飛散を防ぐ。